

Ⅲ 東京湾赤潮・青潮調査

東京湾の赤潮の発生状況については、公共用水域水質測定計画に基づく調査、環境研究センターによる東京湾水質調査及び水質調査船「きよすみ」の巡視等による観測から把握しており、その結果は以下のとおりである。

また、赤潮の判定は海色が赤色ないし黄褐色又は褐色に変わっている海域を判定するとともに、水質データからの赤潮の判定は、表３－１で示される「赤潮の目安」を参考にしておこなっており、月別発生回数は表３－２のとおりである。

表３－１ 赤潮判定の目安

海 色	オリーブ色 ～ 褐色
透明度	１．５m以下
クロロフィル a	５０μg／L以上
ＤＯ飽和度	１５０％以上
p H	８．５以上

表３－２ 月別赤潮発生回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調査回数	4	7	3	4	5	5	4	5	3	2	4	4
発生回数	2	6	2	4	1	0	0	0	1	0	0	0

青潮については、水質保全課と環境研究センターが共同で青潮発生時に、随時現場調査を行っており、１３年度の青潮発生状況及び経年推移は表３－３及び表３－４のとおりである。

表３－３ 平成１３年度青潮発生回数

発生日	発生水域（最大時）	漁業への被害等
4/23	茜浜～船橋航路	な し
7/26～8/2	市原市五井沖～市川航路	〃
8/31～9/6	千葉中央港、新港、船橋航路、茜浜の一部	〃
10/9～10/10	検見川浜～幕張沖、茜浜の一部及び 市川航路の一部	〃

表３－４ 青潮発生推移

年	8	9	10	11	12	13	６年間平均
回 数	3	2	4	2	5	4	3.3回
延べ発生日数	11	8	8	4	23	18	12日